

# シラバス情報

授業方法	講義      実験      ・      実習		
系      列	その他		
科      目      名	自動車検査・機器		
必修・選択	必修科目      ・      選択科目		
対象学科	一級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	3年後期	・      水曜日	・      1・2 時限
時      限      数	12時限（期末試験を除く）		
担当教員名	竹森    翔		
実務経験	有      ・      無		
授業の目的	自動車の車検整備、検査を行う上で重要な検査機器の構造・取り扱い、並びに関係法令について講義する。		
テキスト	①作成資料 ②自動車検査用機械器具の構造と取扱（日本自動車機械工具協会    発行）		
授    業    計    画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第 1 回	ガソリン車の排出ガス規制	排気ガステスタの原理・構造・取り扱い・測定方法及び関連法規	① ②P79～P89
第 2 回	ディーゼル車の排出ガス規制	オパシメータの原理・構造・取り扱い・測定方法及び関連法規	① ②P103～P110
第 3 回	灯火装置	全自動ヘッドライトテスタの原理・構造・取り扱い・測定方法及び関連法規	① ②P45～P64
第 4 回	制動装置、サイドスリップテスタ、速度計 1	ブレーキテスタ、サイドスリップテスタ、速度計の原理・構造・取り扱い・測定方法及び関連法規	① ②P9～P41
第 5 回	制動装置、サイドスリップテスタ、速度計 2	ブレーキテスタ、サイドスリップテスタ、速度計の原理・構造・取り扱い・測定方法及び関連法規	① ②P9～P41
第 6 回	騒音関係	騒音計、騒音分析器の構造・取り扱い・測定方法及び関連法規	① ②P79～P89
	期末試験	第1回～第6回までの授業内容に関する筆記試験	
到達目標	自動車の車検整備、検査を行う上で重要な検査機器の構造・取り扱い、関係法令を修得する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		

成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>期末試験の点数 80 %</p> <p>平常点 20 %</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。</p> <p>70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点＝良とする。</p>
成績評価できない 場合の基準	<p>全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が70点未満の場合。</p>